

# 文化財

## をめぐる 継承と発信の 最前線

令和5年

12月2日 土

13:30～16:00

郡山市市民交流プラザ大会議室2  
(福島県郡山市駅前2丁目11-1ビッグアイ7階)

### ■ 趣旨説明・司会

内山大介 (淑徳大学地域創生学部 教授)

### ■ 「棚倉町の文化遺産を活かした地域活性化の取り組み」

藤田直一氏 (棚倉町役場地域創生課 課長補佐  
兼歴史観光係長兼学芸員)

### ■ 「歴史文化資源をみんなでももり、いかし、つなげる —喜多方市文化財保存活用地域計画—」

蓮沼優介氏 (喜多方市教育委員会文化課 主査)

参加無料  
申込不要

定員80名  
先着順

地域の文化財をとりまく環境はいま、大きく変わろうとしている。2010年前後から各地で策定された歴史文化基本構想や歴史的風致維持向上計画、さらに近年の日本遺産や文化財保存活用地域計画に至るまで、文化財の保存と活用をめぐる新しい取り組みが各地で進んでいる。そこに共通するのは、個々の文化財を系統的に把握してストーリーを発信するための仕組みづくりであり、行政だけにとどまらず地域全体で文化財を支えていくことも求められる。

本フォーラムでは、福島県内でそうした実務に取り組まれている方をお招きし、現場における課題や展望をうかがう。これからの地域にとって文化財はどんな意味をもつのか、我々はそこにどう関わっていくべきかを改めて考える機会としたい。

主催  
淑徳大学地域創生学部

後援  
喜多方市教育委員会・棚倉町

